

基本計画における食料自給率目標

2013年度

【平成 25 年度（基準年度）】

×総人口1億2700万人

【2015年基本計画】

$$39\% = \frac{1人・1日当たり国産供給熱量(939kcal)}{1人・1日当たり総供給熱量(2,424kcal)} = \frac{1日当たり国産供給熱量(119.5兆cal)}{1日当たり総供給熱量(308.6兆cal)} \quad \text{1.050倍}$$

2025年度

【平成 37 年度（目標年度）】

×総人口1億2070万人（予測）

$$45\% = \frac{1人・1日当たり国産供給熱量(1,040kcal)}{1人・1日当たり総供給熱量(2,313kcal)} = \frac{1日当たり国産供給熱量(125.5兆cal)}{1日当たり総供給熱量(279.1兆cal)} \quad \text{0.904倍}$$

※もし2013年度の国産供給熱量が維持できるならば、2025年度の自給率は42.8%

2018年度

【平成30年度（基準年度）】

×総人口1億2618万人

【2020年基本計画】

$$37\% = \frac{1人・1日当たり国産供給熱量(912kcal)}{1人・1日当たり総供給熱量(2443kcal)} = \frac{1日当たり国産供給熱量(115.1兆cal)}{1日当たり総供給熱量(308.3兆cal)} \quad \text{1.067倍}$$

2030年度

【令和12年度（目標年度）】

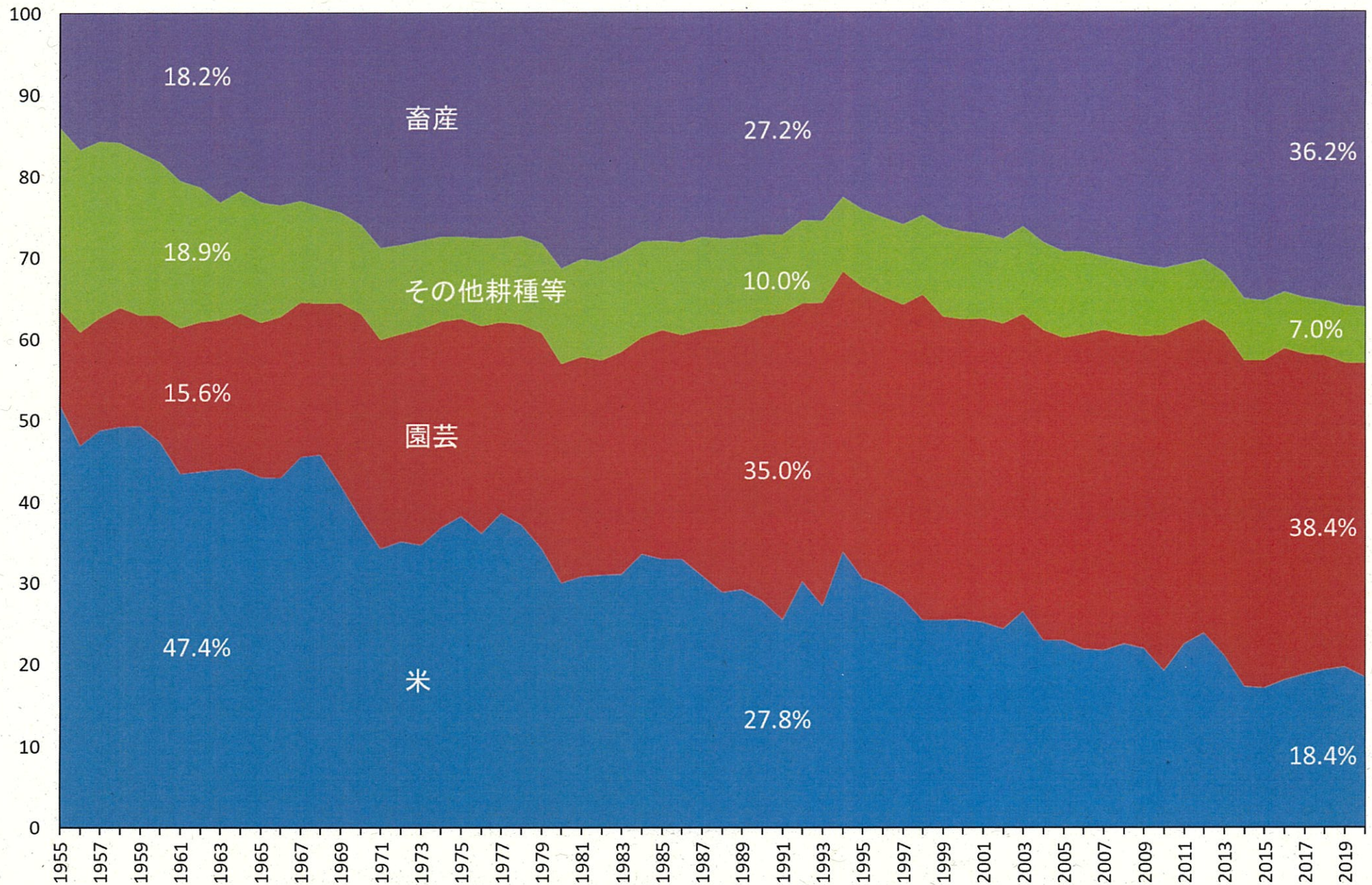
×総人口1億1913万人（予測）

$$45\% = \frac{1人・1日当たり国産供給熱量(1031kcal)}{1人・1日当たり総供給熱量(2314kcal)} = \frac{1日当たり国産供給熱量(122.8兆cal)}{1日当たり総供給熱量(275.7兆cal)} \quad \text{0.894倍}$$

※もし2018年度の国産供給熱量が維持できるならば、2030年度の自給率は41.7%

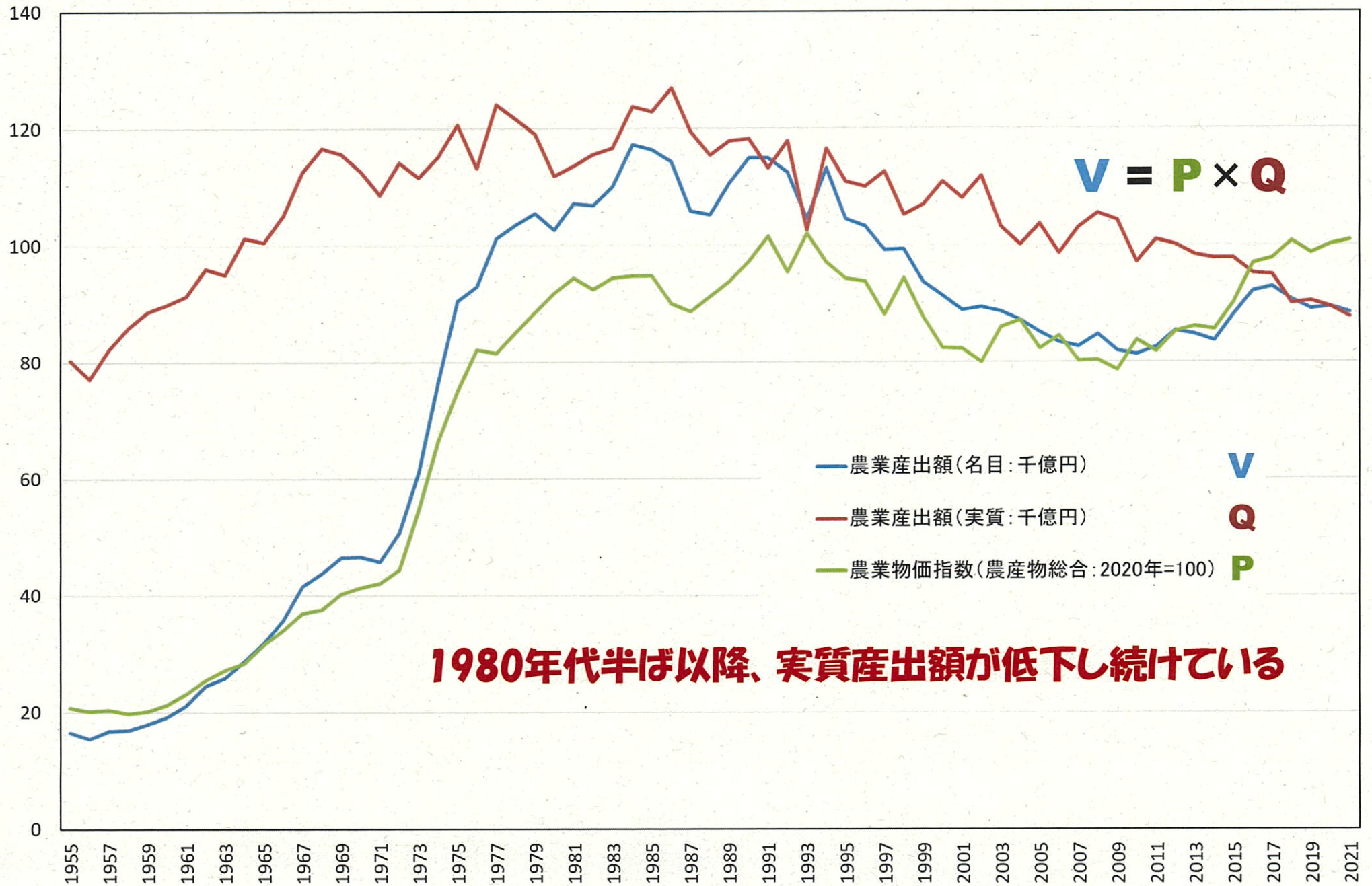
4. 国内農業生産の推移

農業産出構成の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」 ※数値は左から、1960年、1990年、2020年

農業産出の推移

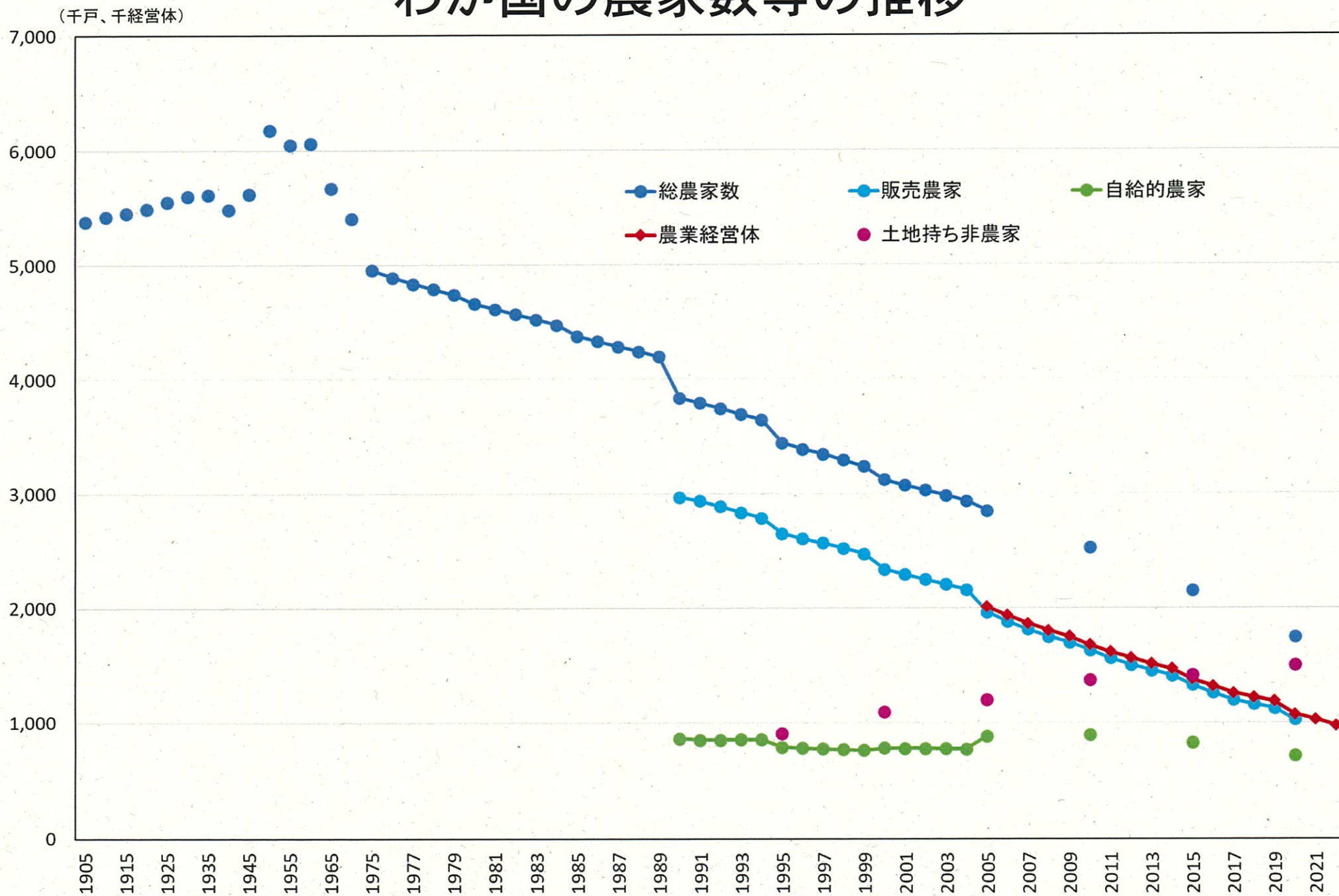


資料: 農林水産省「生産農業所得統計」「農業物価統計」

画期のポイント(農業生産・食料貿易)

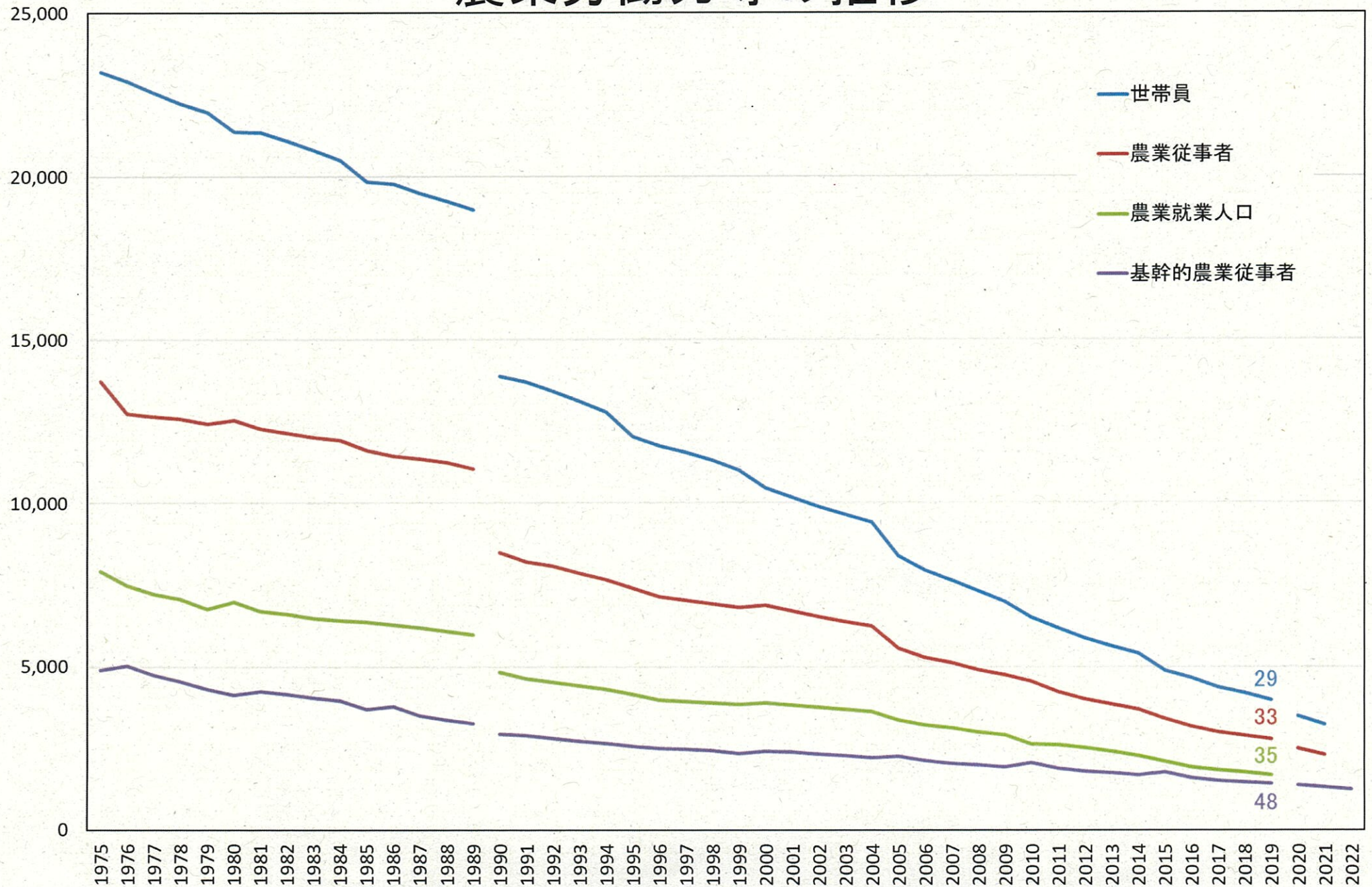
- 農業産出額(実質)
 - 1986年がピーク
- 労働
 - 1970年代から続落、90年代に減少傾向が加速
- 農地
 - 1960年代から転用が継続
 - 1994年に耕地利用率が100%を割り込む
- 農業固定資本形成(機械・施設・動植物)
 - 1980年以前から低下傾向
 - 2005年前後に一段低下した後、一定水準を維持
- 食料貿易
 - 農畜産物の輸入が増加、加工品(調製品)が増加
 - 加工品の輸出が増加

わが国の農家数等の推移



資料: 農林水産省資料 ※1975年より前は5年おき、1975年以降は毎年の数値

農業労働力等の推移



資料：農水省「農業センサス」「農業構造動態調査」 ※グラフ内の数字は1990年に対する2019年の値（百分比）
1989年以前は総農家、1990年以降は販売農家、2020年以降は個人経営体の値